

5G インフラシェアリング事業を加速・拡大 ～特許取得、JTOWER とも事業連携 5G 基盤の普及促進に貢献～

三菱地所株式会社は、5G を今後のまちづくりに必須の社会基盤と位置づけ、そのインフラを建設して複数の移動体通信事業者（以下、通信事業者）に提供する「5G インフラシェアリング事業」（以下、本事業）を加速・拡大いたします。今般、[エクシオグループ株式会社](#)（東京都渋谷区、代表取締役社長：船橋哲也 氏、以下「エクシオグループ」）と共同で、基地局用シェアリングの建物屋上ソリューションおよびその工法に関する特許を取得しました。また、[株式会社 JTOWER](#)（東京都港区、代表取締役社長：田中敦史 氏、以下「JTOWER」）との事業連携に基本合意いたしました。

これらにより、事業推進のスピードアップや 5G の普及促進を図り、5G 基盤の早期整備による社会のデジタル化、および持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

インフラシェアリングとは、これまで通信事業者各社が各々で整備してきた携帯通信設備を共用化する仕組みです。通信事業者は設備投資を削減し、物件調査のリソースを省きつつ、より早期に基地局建設を進められるメリットがあります。特に 5G 基盤整備においては、その電波特性からより多くの基地局設置が必要とされるため、総務省や自治体もガイドライン等の整備を通じ、インフラシェアリングの普及を促進しています。

今回、当社とエクシオグループが取得した特許は、複数の通信事業者が建物屋上で同時にアンテナや無線装置を設置するためのインフラの構造、工法、光ケーブルや電源の提供方法等で、これにより複数の通信事業者が、低コスト化を図りながら限られたスペースで置局を行うことが可能となります。また、消費電力や資材、工事工数の削減など、環境負荷の低減につながります。

また、このほど屋内インフラシェアの最大手である JTOWER と事業連携し、営業提携を相互に進めることでより広範なエリアやアセットでの展開を加速します。また、横浜みなとみらい地区ではスマートポール[※]事業を共同で実施するほか、当社が運営する一部の施設にて、JTOWER の屋内 5G 携帯通信環境整備のソリューションを活用、丸の内・大手町や名古屋の一部のビルにて、5G 対策を共同で進めていく予定です。

※5G 基地局などを備える多機能型ポールの総称



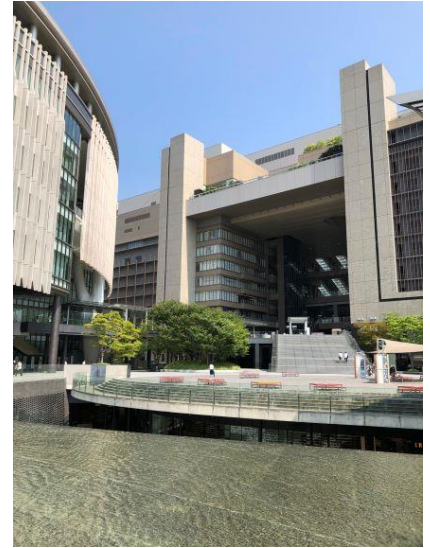
▲丸ビル及び 5G 電波を照射する東京駅前エリア



▲横浜みなとみらいエリア



▲名古屋駅前エリア



▲大阪駅前エリア

なお、当社は、2021年1月に本事業に本格参入し、2022年4月に東京駅エリア初となる屋外5Gインフラシェアサービスを丸ビルで供用開始しました。自社もしくは他社の運営する不動産の屋上を活用した屋外におけるインフラシェアリングを展開しており、現在、大手町・有楽町・横浜みなとみらい・名古屋駅前・大阪駅前等でも、設計や通信事業者との協議を進めております。

今後とも積極的に本事業を展開し、5G普及を進め、5Gを活用した快適で便利な新しい暮らしやまちづくりを展開してまいります。

■特許概要

特許番号：特許第7104261号

発明の名称：基地局用シェアリング設備およびその設置方法

特許権者：三菱地所株式会社、エクシオグループ株式会社

特許取得日：2022年7月20日

■JTOWER との事業連携について

基本合意内容：両社が提供するインフラシェアリングのソリューション（当社：屋外向け、JTOWER：屋内向け）の営業提携を相互に進めるほか、横浜みなとみらい地区でのスマートポールの共同事業の展開や当社が所有・運営する一部の物件にて、JTOWERによる屋内インフラシェアリングソリューションの導入を進める。

■エクシオグループ株式会社について

所在地：東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号

代表者：代表取締役社長 船橋 哲也 氏

設立年月：1954年5月

事業内容：通信事業者向け電気・通信基盤構築

URL：<https://www.exeo.co.jp/>

■株式会社 JTOWER について

所在地：東京都港区南青山2丁目2番地3号

代表者：代表取締役社長 田中 敦史 氏

設立年月：2012年6月

事業内容：通信インフラシェアリング事業およびその関連ソリューションの提供

URL：<https://www.jtower.co.jp/>